

令和元年度  
(2019 年度)

# 市長公室の取り組み実績

<部の構成>

秘書課、広報プロモーション課、広聴相談課、人権政策室、市民活動課

## 1. 重点施策・事業

### (1) 市の認知度向上、定住促進につながる情報発信

<b>方向性</b>	市の魅力を広く市内外へ PR し、市の認知度向上、定住促進につながる情報発信に取り組みます。
<b>取り組み</b>	<p>「マイカタちゃいます、」や「枚方家族」をキャッチフレーズとした PR を積極的に展開するため、情報誌への広告掲載や民間事業者とのタイアップによる企画などさらなる取り組みを進めます。</p> <p>部署を超えた職員投稿チーム「インスタ隊」の活動を通してInstagramによるビジュアル的な発信を強化するとともに、民間の情報発信企業とのコラボ企画などを積極的に展開し、若年層への PR を図ります。</p> <p>市 SNS の中でフォロワー数が最も多く、若者の利用頻度が高い twitter を効果的に活用するため、若い世代に注目される「つぶやき」を積極的に行います。</p> <p>まちの PR だけでなく市民生活に役立つ動画配信を充実させ、「伝わる」を意識した情報発信に取り組みます。</p> <p>《目標値》</p> <p>市公式フェイスブック ページの「いいね！」数：年間 1,000 人増（平成 31 年 4 月 16 日現在 3,142 人）</p> <p>市公式Instagram フォロワーの数：年間 2,000 人増（平成 31 年 4 月 16 日現在 2,005 人）</p> <p>平成 31 年度当初予算：4,800 千円（広報アドバイザー報酬、広告料、委託料）</p>



昨年発足した、職員投稿チーム「インスタ隊」

<b>実績</b>	<p>「世界中どこにいても好きになってくれるなら枚方家族」をキャッチフレーズに、ゆかりの著名人動画を引き続き公開したほか、ロシア人やブラジル人、フランス人へ枚方家族バッジを配布し、バッジを付けた写真を市 SNS 等で紹介するなど世界中に「枚方家族」を広める取り組みを進めました。また、枚方市駅中央改札前のデジタルサイネージに、優しいまちを PR する枚方家族動画とともに枚方まつりやオクトーバーフェストなどのイベント情報を掲出しました。</p> <p>広報紙の料理レシピコーナー「枚方キッチン」と市 PR 大使パンサーズが枚方を巡るコーナー「パンサーズが行く」の動画を作成し公開しました。</p> <p>広報紙のファンを増やす取り組みとして、クイズとアンケートのコーナーの景品に地元の野菜や友好都市の物産をプレゼントに取り入れることで回答者数の増加に繋がりました。</p> <p>昨年度に引き続き、庁内から若手職員が集結する庁内Instagram隊による投稿で若年層へ向けて枚方のまちの魅力を PR しています。</p> <p>5 月には、読売ファミリーの岡田准一さんインタビュー記事下に掲出した市広告で、「令和」も「平和」アンケートを実施し 96 人から平和へのメッセージを得ました。</p> <p>市公式フェイスブックページの「いいね！」数：3,735 人（593 人増）</p> <p>市公式Instagramのフォロワー数：3,940 人（2,089 人増）</p> <p>令和元年度決算：2,527 千円（広報アドバイザー報酬、広告料、委託料）</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ○ 】	

<b>（２）全庁的な情報発信力の強化</b>	
<b>方向性</b>	<p>全庁的な情報発信力をさらに高めるため、各部署との連携強化を図るとともに、職員の広報意識向上、スキルアップを図ります。</p>
<b>取り組み</b>	<p>各部署からの個別相談に応じる「頼りになる広報課」の支援体制をより充実させることで、庁内連携による情報発信を強化します。</p> <p>若手職員と広報アドバイザーが対話する機会を設け、職員の広報意識向上を目指します。</p> <p>庁内報「広報のチカラ」を定期的（年４回）に発行するとともに、全庁的な情報発信力強化に向けた研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>「頼りになる広報課」への相談件数：40 件（昨年度比 10%増）</p> <p>平成 31 年度当初予算：119,656 千円〔広報ひらかた発行経費、諸経費（広告料、委託料を除く）、ホームページ経費〕</p>
<b>実績</b>	<p>「頼りになる広報課」の支援体制をさらに充実させ、チラシ等のデザインだけでなく各課ホームページの個別相談にも対応しました。</p> <p>職員採用募集について、市公式Instagramと連携し「映える」職員を毎日紹介することにより採用広報の情報発信力強化を図りました。</p> <p>11 月 1 日に、若手職員が広報アドバイザーと対話する「毎日の仕事にときめく方法」</p>

	<p>研修を実施しました。</p> <p>庁内報「広報のチカラ」は、プレゼンテーションに関する記事と、ホームページのビフォーアフターなどとともに、庁内職員向けの啓発広告を掲出し、12月と3月に2回発行しました。</p> <p>頼りになる広報課への相談件数：47件</p> <p>令和元年度決算：94,286千円<small>[広報ひらかた発行経費、諸経費（広告料、委託料を除く）、ホームページ経費]</small></p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>

<b>(3) シティプロモーションの推進</b>	
<b>方向性</b>	<p>平成30年度に実施したシティプロモーション推進業務委託で整理したプランに基づき、行政と市民、事業者と一緒に枚方市のことを考え課題解決を図っていく「シティプロモーション推進プラットフォーム」や「ひらかたプロデューサーズ」などの取り組みを進めることで、本市の魅力・知名度の向上やシビックプライドの醸成を図り、定住促進・人口誘導につなげていきます。</p>
<b>取り組み</b>	<p>シティプロモーションの推進</p> <p>シビックプライドをまちへの愛着や誇りなどから形成される人々の熱量（枚方温度）として把握し、その熱量を高め、伝え広げていくため、プランに基づく取り組みを進めていきます。</p> <p>①シティプロモーション推進プラットフォーム</p> <p>市政への市民参加の機会拡充と、企業・大学等との連携強化を図るため、シティプロモーション推進プラットフォームの取り組みを進め、行政課題を共有するとともに、新たな施策の創出につなげます。</p> <p>②ひらかたプロデューサーズの運用</p> <p>『ひらかたプロデューサーズ』が、自身のSNSを通じて本市の魅力を情報発信することで、知名度の向上とシビックプライドの醸成を図ります。</p> <p>③市内外に対する魅力の発信</p> <p>定住促進・人口誘導につながる効果的な取り組みとして、子育て世代の親世代や、友人・知人からの口コミなど市内外のターゲットに対して本市の魅力を広く情報発信していきます。</p> <p>《目標値》（令和元年度(2019年度)まで)</p> <p>シティプロモーション推進プラットフォームで実施した取り組みの件数：10件 ひらかたプロデューサーズの登録数：150件</p> <p>平成31年度当初予算：800千円</p>
<b>実績</b>	<p>シティプロモーション推進プラットフォームとして3件の取り組みを実現し、登録事業者数（22事業者：令和2年3月末時点）を増加することができました。具体的な取り組み内容は、①摂南大学との連携で「災害時のペット同行避難訓練」を実施しました。②中小企業の「健康経営（健康増進）」への取り組み支援として、健康、スポーツ振興、防災、防犯、その他市政のPR等について住友生命</p>

	<p>京阪支社と包括連携協定の締結をしました。③住友生命京阪支社が「まちなか緑化の推進」や「公園・緑地の利活用の促進」、「みどりに関するコーディネート」を担う市民コミュニティ「みどりのプラットフォーム」サポーター企業として連携を実施し、市の魅力向上に向けた取り組みを進めました。</p> <p>市テーマソングの歌詞作成のためのアイデア出しやプロモーションビデオ出演などで、ひらかたプロデューサーズが市テーマソング制作に携わることで、シビックプライドの醸成とPRに取り組みました。また、市公式フェイスブックでひらかたプロデューサーズの取り組みを紹介するなど、知名度の向上に努めました。</p> <p>枚方まつりやガンバ大阪市民応援デーなど、市内外のイベントに市のPRブースを出展し、市の魅力発信を行いました。また、枚方への愛着をアンケートで数値化する「枚方温度調査」を8月に1回実施しました。</p> <p>シティプロモーション推進プラットフォームで実施した取り組みの件数:3件 ひらかたプロデューサーズの登録数:199件</p> <p>令和元年度決算:1,307千円</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ○ 】</b>

<b>(4) 総合コールセンターの充実</b>	
<b>方向性</b>	市役所への問い合わせについて、開庁日および土日祝・平日夜間においても一元的に受付を行い、可能な限りワンストップにて回答することで市民の利便性の向上を図るとともに、親切かつ丁寧な対応を通じて、正確に担当部署への取り次ぎを行うことで、問い合わせに関する市民満足度の向上を図ります。
<b>取り組み</b>	<p>平成28年度から平成30年度までの試行検証を踏まえ、オペレータ席を増席するとともに、新たに「FAQシステム」を導入します。随時、FAQの充実を図ることでワンストップ完結率の向上を図ります。</p> <p>また、問い合わせ内容が事前にホームページで確認できる「FAQ専用サイト」を開設し、市民へ公開することで、コールセンターへの着信件数の縮減に取り組みます。</p> <p>《目標値》 総着信数に対する応答率95%以上、ワンストップ完結率30%</p> <p>平成31年度当初予算:64,838千円</p>
<b>実績</b>	<p>コールセンターへの総着信数は260,766件で、応答率は昨年度の77.6%から96.5%に向上しました。また、ワンストップ完結率は平成30年3月末の12.5%から毎月増加し、令和元年3月末で25.3%となりました。</p> <p>FAQの件数は、昨年度末の610件から1,051件に増加し、適宜「FAQ専用サイト」で市民に公開しました。</p> <p>令和元年度決算:52,005千円</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ○ 】</b>

<b>(5) 災害等通報システムの導入</b>	
<b>方向性</b>	災害時や地域における不具合箇所等が生じた場合に、ICT を活用した通報システムを導入することで、通報手段の拡充や市民の利便性向上を図るとともに、通報内容について情報共有できる仕組みをつくります。
<b>取り組み</b>	災害時における倒木や浸水等被害報告をはじめ、道路の陥没、公園施設の不具合について、電話やメールによる既存の通報手段に加え、新たにスマートフォンやパソコンを用いて現場写真や位置情報を市に通報するシステムを試行的に導入します。また、通報者との情報共有を図るため、通報内容についての対応状況が確認できるシステムとし、概ね6ヶ月間の試行運用による検証を行い、本格導入に向けた取り組みを進めます。 平成31年度当初予算：300千円
<b>実績</b>	7月から12月末までの試行運用を行い、20件の通報に対し、運用マニュアルに基づいて適切に対応を行いました。本格導入に向けた検証でシステムの有用性について確認し、令和2年7月開設予定の「LINE公式アカウント」の機能のひとつとして、市民からの通報受付を実施する方針を固めました。 令和元年度決算：297千円
<b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ◎ 】	

<b>(6) 平和施策や人権施策の推進</b>	
<b>方向性</b>	悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。
<b>取り組み</b>	戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるため、「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」の開催をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。 また、すべての人々の人権が尊重され、差別のない社会の実現を目指し、より多くの市民が人権について身近に感じ考えることができるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。 《目標値》 「ひらかた平和フォーラム」のアンケート結果における「平和に対する関心や理解が大変深まった」「まあ深まった」の割合：96%（昨年度実績92.6%） 平成31年度当初予算：8,019千円（平和啓発） 平成31年度当初予算：9,724千円（人権啓発）
<b>実績</b>	講演会「憲法のつどい」（5月）、平和資料室特別展 絵本「へいわってすてきだね」長谷川義史原画展（7～8月）、「禁野火薬庫の爆発」ミニパネル展（2～3月）等を実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さ等を幅広い世代に伝えるための取り組みを行いました。なお、「ひらかた平和フォーラム」、「枚方市平和の燈火（あかり）」等の枚

	<p>方市平和の日記念事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部の事業を除き大半を中止としました。</p> <p>また、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と連携し、自らの生き方を語る講座「生きること」(9~10月、全4回)や映画会(9月)、ミニ演奏会及び講演会(12月)等を開催し、人権について考える機会を提供しました。</p> <p>《実績値》</p> <p>実績値なし。(目標値に設定していた「ひらかた平和フォーラム」のアンケート結果については、イベント自体が中止となったため)</p> <p>令和元年度決算：4,651千円(平和啓発)</p> <p>令和元年度決算：9,724千円(人権啓発)</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 〇 】</b>

<b>(7) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進</b>	
<b>方向性</b>	<p>次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないためのDV予防や男女共同参画の理解を深める学習機会を提供します。</p> <p>あわせて、ワーク・ライフ・バランスの促進及び女性の職業生活における活躍の推進に向け、男性を対象にした啓発講座や女性を対象にした就労支援講座などの啓発事業や相談事業の充実を図ります。</p>
<b>取り組み</b>	<p>教育委員会と連携し、市立小学校4年生を対象に「DV予防教育プログラム」を実施するとともに、市立中学校2年生を対象にした「デートDV予防教育プログラム」を実施します。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの促進及び女性の職業生活における活躍の推進に向けては、男女共同参画週間事業における男性の家事・育児に関する講演会等の実施や市民参画型啓発事業「ウィル・フェスタ」における女性のための起業体験コーナーの設置を行います。</p> <p>また、枚方市駅直結の男女共生フロア・ウィルの利便性を活かし、各種相談業務の実施や男女共同参画に関する図書や情報コーナーの充実を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>DV・デートDV予防教育プログラム実施校：17校(昨年度比5校増)</p> <p>平成31年度当初予算：2,771千円(DV防止対策事業経費)</p> <p>平成31年度当初予算：12,431千円(男女共生フロア経費)</p>
<b>実績</b>	<p>DV予防教育プログラムについては、小学校、中学校ともに昨年度より大幅に希望校が増加し、小学校10校、中学校12校で実施しました。ワーク・ライフ・バランス及び女性の職業生活における活躍の推進に向けては、男女共同参画週間事業において「男の家事が社会を救う！楽しく学ぶジェンダー論」と題した講演会を実施し、83人(うち男性41人)の参加がありました。また、市民参画型啓発事業「ウィル・フェスタ」における女性のための起業体験コーナー「ワンテーブルショップ」には、起業を目指す女性等14組が出展し、延べ192人が来場しました。</p>

	男女共生フロア・ウィルでは、4月から男性のための電話相談とLGBT電話相談を新設したほか、仕事帰りの市民を対象にした男女共同参画に関するミニ講座や映画上映会を夜間の時間帯に実施し、幅広い市民層にウィルが身近な男女共同参画の拠点施設であることをPRしました。
	令和元年度決算：2,460千円(DV防止対策事業経費) 令和元年度決算：11,733千円(男女共生フロア経費)
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>

<b>(8) 性的マイノリティ支援の推進</b>	
<b>方向性</b>	誰もがいきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりに向け、性的マイノリティ支援に取り組めます。
<b>取り組み</b>	平成31年4月1日より導入したLGBTなどの性的マイノリティのカップルを市が公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」の利用促進を図るとともに、専門の相談員によるLGBT電話相談窓口を新設します。 合わせて、パートナーシップ宣誓書受領証の提示により活用できる市の施策の拡大に向けて、市内の連携を図るとともに、市内事業所等への周知を行い、性的マイノリティ支援への協力を呼びかけます。 また、市民を対象にした啓発講座や職員を対象にした研修等を継続して実施することにより、多様な性への理解促進とアライ(当事者を理解して支える人)の育成に取り組めます。 平成31年度当初予算：727千円
<b>実績</b>	パートナーシップ宣誓制度については、9組の利用がありました。宣誓書受領証の提示により活用できる市の施策については、令和元年度より新たに「結婚等新生活支援補助金」の申請や市営住宅の入居申し込みが可能となりました。LGBT電話相談は8件の利用がありましたが、さらなる利用促進に向け、周知を行いました。 また、性的マイノリティ当事者同士や支援者との交流を目的に、月に1回コミュニティスペースとなる「ひらかた・にじいろスペース」を開催しました。 市民向け講座として、市民参画型啓発事業「ウィル・フェスタ」においてトランスジェンダーのシンガーソングライター悠以さんによる講演会とコンサート等を実施し、広く市民に対して多様な性への理解促進を図ったほか、職員向けハンドブックの改訂と合わせ、研修を行い、職員への周知・啓発に努めました。 令和元年度決算：755千円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>

(9) 協働によるまちづくりの推進	
方向性	<p>地域課題が多様化・複雑化している中で、市民や市民団体（校区コミュニティ協議会、NPO）などと地域課題を共有し、信頼関係をより深めながら、協働によるまちづくりを進めます。</p> <p>協働の実現のためには、職員の協働に対する理解をより深め、従来の形にとらわれない新たな発想が必要であり、全庁的な協働の機運を高めていきます。</p>
取り組み	<p>協働によるまちづくりをさらに推進するため、地域に市職員を配置する「地域担当職員制度」を平成 28 年度に導入し、校区コミュニティ協議会と定期的に情報交換を行うことで、地域の実情を把握するとともに、信頼関係の構築に向けた活動等に取り組んでおり、今年度においても引き続き実施します。</p> <p>また、校区コミュニティ協議会が校区の特色を活かして、地域の活性化を図るために実施する「地域づくりデザイン事業」がより活発に展開されるよう、地域の意見を聞きながら見直しを進めます。</p> <p>さらに、行政と NPO との意見交換会をひらかた市民活動支援センターと協働して実施するほか、協働ハンドブックを活用した職員研修を実施し、職員の協働の意識を高めていきます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域担当職員が枚方市コミュニティ連絡協議会のブロック会議に参加する回数：12 回（8 回）</li> <li>・行政と NPO との意見交換会の回数：3 回（2 回）</li> </ul> <p>※（）内は平成 30 年度実績</p> <p>平成 31 年度当初予算：550 千円</p>
実績	<p>地域担当職員が、枚方市コミュニティ連絡協議会のブロック会議に 13 回参加し、校区コミュニティ協議会と情報交換を行うことで、地域の実情を把握するとともに、信頼関係の構築に向けた活動等に取り組みました。</p> <p>行政と NPO との意見交換会は、「みどりのプラットフォーム」、「受動喫煙の防止対策」、「防災」をテーマに合計 3 回開催しました。</p> <p>職員の協働の意識を高めるため、協働ハンドブックを活用した職員研修を開催し、外部講師による講演や本市における協働の事例紹介等を実施しました。</p> <p>令和元年度決算：535 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	



## 2. 行政改革・業務改善

### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<p>株式会社エフエムひらかたについては、平成 29 年 3 月に策定された「第 2 期経営戦略プログラム」及び同アクションプランに基づく取り組みを詳細に検証するとともに、将来的な市の関与のあり方について整理します。</p> <p>特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会については、経営プランに基づいた自立的運営への取り組み及び特色のある事業の実施を促します。</p> <p>特定非営利活動法人枚方市勤労市民会については、市が設立から関わり支援を行っていますが、団体運営補助金については、平成 31 年度を終期と設定していることから、会員数拡大など自立運営に向けた経営プランを策定するよう求めるなど、会との十分な協議を行いながら、自立に向けた取り組みを進めます。</p> <p>また、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターについては、平成 28 年度に策定した中長期プランに基づき、引き続き改善に向けた取り組みを進めるよう求めています。</p> <p>加えて、各団体について、各プランの取り組みの進捗管理を徹底します。</p>
実績	<p>株式会社エフエムひらかたについて、第 2 期経営戦略プログラム等の詳細な検証のうえで、同社への関与のあり方を抜本的に見直し、令和 4 年度から放送委託を廃止することとしました。</p> <p>特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会については、枚方市外郭団体等経営評価員による点検・評価における指摘を踏まえ、団体との協議で確定した見直し後の相談体制による相談事業を実施、また、自主財源の確保のための取り組みとしては、会費の 2 口以上の納付依頼、人権研修への講師派遣、自主事業での寄付の呼びかけなどを実施しました。団体の運営や活動が、効率的・効果的に進められるよう団体設置の企画運営委員会へ参画し、情報共有、協議及び助言等を行いました。</p> <p>特定非営利活動法人枚方市勤労市民会については、会の自立運営や今後の支援のあり方について協議を行った結果、自立運営に向けては、会員の拡大や会費の値上げ等の課題に対して、会員の意向等を確認、調整する必要があることから、団体運営補助金の終期を令和 3 年度に再設定するとともに、会に対しては、補助金廃止後の運営方針の策定を求めました。</p> <p>特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターについては、平成 31 年度についても引き続き、プランで定めた方向性に基づいた取り組みを進めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
グループウェアのマイスペース機能の活用	マイスペース機能の活用により担当業務の進捗状況の把握と情報共有を図ります。
<b>実績</b>	グループウェアのマイスペース機能の活用により各自の業務の進捗状況を共有するとともに、業務マニュアル等の共有も行き、効率的な業務の執行につなげました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ペーパーレス化の促進	タブレット端末の活用により紙資料の発生を抑制し、資料のスリム化と整理された職場環境をつくります。
<b>実績</b>	資料作成等において画面上で確認できるものはタブレット端末を活用することで紙資料の削減に努めた。また、共有資料、書籍等を整理して職場全体のペーパーレス化を推進するとともにレイアウト変更も行い職場環境の改善を実施しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車管理記録簿の作成	市長車、副市長車を清潔・快適に維持管理ができるよう、清掃や点検状況が課内で共有できる管理記録簿を作成し、効率的な維持管理を行います。
<b>実績</b>	市長車、副市長車の公用車管理記録簿を作成し、日々の清掃や点検状況を課内で共有することで清潔、快適な車両環境の維持管理を行いました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
広報紙掲載記事ルール等の庁内共有	広報ひらかたに掲載する各部署からのお知らせ記事について、発行ルールに則った記事を各部署広報担当者が作成できるよう研修を実施し、記事校正等に係る業務効率の改善を図ります。
<b>実績</b>	6月26日に広報担当者に向けて、「広報ひらかたの掲載ルール」と「講座：広報のチカラ～伝わる書面で仕事をラクに」をテーマとした研修を実施し、101人が参加しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
庁内報への職員向け PR 広告枠の新設	広報課が定期的に発行する職員向け庁内報に、ノー残業デーや公用車事故防止、有給取得推進、職員アンケート実施などを掲載する庁内広告枠を新設し、職員への周知の浸透を図ります。
<b>実績</b>	12月発行の庁内報には、ノー残業デーをテーマとしてTVドラマのパロディ広告を掲載し、3月発行分には、LGBTALLYをテーマとした広告を掲載しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
交通事故相談	待ち時間の解消及び市民サービス向上のため、1人あたり60分以内で1日4枠として、事前予約制を開始します。
<b>実績</b>	毎週火・金曜日に実施している交通事故相談について、13時から17時まで1日4枠1人あたり60分以内として、電話および窓口での事前予約を平成31年4月から開始しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

### 3. 予算編成・執行

- ◆平成29年3月に策定された「第2期エフエムひらかた経営戦略プログラム」及び同アクションプランに基づき、平成31年度のエフエムひらかたへの放送委託料を対前年度比で53万円削減しました。

<b>実績</b>	令和元年度のエフエムひらかたへの放送委託料を対前年度比で53万円削減しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

- ◆平成31年度において、「バナー広告 約218万円、広報ひらかた広告 約670万円」の歳入予算を計上し、安定した広告収入の確保に向けて取り組みを進めます。

<b>実績</b>	令和元年度において、バナー広告約210万円、広報ひらかた広告約630万円の歳入を確保しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

- ◆平和人権等の啓発事業について、平日以外の開催や関係他部局の既存事業との共催で、より効果的な啓発を行うとともに、運用面での効率化を図ります。

<b>実績</b>	より多くの市民に参加してもらえよう映画会等の開催日については平日以外を基本とするとともに、妙見山煙突見学と戦争遺跡バスツアーを同日に開催するなど、効果
-----------	---

	<p>ので効率的な事業実施に努めました。また、昨年度に引き続き、枚方まつりに人権や平和に係るブース出展を行うなど、他部署と連携した取り組みを進めました。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>

#### 4. 組織運営・人材育成

- ◆タブレット端末を活用し、ペーパーレス会議を推進することで、職場内のIT化を促進します。

実績	<p>課内会議や研修においても積極的にペーパーレス会議システムを活用することで職場内のIT化を促進に努めました。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>

- ◆接遇専門研修に参加し、そこで学んだ知識を職場内で共有・実践することで、職員一人ひとりの対応能力の向上と担当業務のボトムアップに努めます。

実績	<p>接遇専門研修に参加した職員による職場研修を開催し、学びの共有と意見交換を行うとともに、日常の実践の中でお互いに指摘・確認し合うことで対応能力の向上につなげました。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>

- ◆全庁的な情報発信力強化を目的として、若手職員向けスキルアップ研修等を実施します。

実績	<p>6月26日に広報担当者に向けて、「広報ひらかたの掲載ルール」と「講座：広報のチカラ～伝わる書面で仕事をラクに」をテーマとした研修を実施し、101人が参加しました。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>

- ◆実務を担当する若手職員と広報アドバイザーが対話する機会を設け、全庁的な広報意識の改革を図ります。

実績	<p>11月1日に若手職員が広報アドバイザーと先輩職員が対話するワークショップ型の「毎日の仕事にときめく研修」を実施し、25人が参加しました。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>

- ◆「仕事の取り組み方の基本となる『行動指針』を策定する」、「定例業務を見直し、改善することで時間外を縮減する」などといった働き方改革に取り組み、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めます。

実績	<p>広報課「全員クリエイター宣言」として、各自の行動指針を定めることで、年間を通じて仕事へのモチベーションを保つ工夫を行いました。</p>
----	--

取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】
--------------	-------

- ◆人権擁護推進本部や男女共同参画推進本部の研修を通して、職員がさまざまな人権課題や男女共同参画課題に気づき、DV被害者など困難な状況にある市民に適切に対応できる能力を培います。

実績	令和元年12月に「障害者差別解消法及び合理的配慮について」をテーマに人権擁護推進本部研修会を実施し、障害者の人権問題に対する理解と人権意識の醸成を図りました。令和元年11月に「LGBTなどの性的マイノリティに関する職場での相談事例～「枚方市職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンドブック」を活用して～」をテーマに男女共同参画推進本部委員、全所属長、各課男女共同参画推進担当者を対象に人事課と共催で研修を実施し、本市が作成したハンドブックをもとに、LGBTなどの性的マイノリティの方への理解促進を図りました。また、DV被害者支援については枚方市DV関係機関連絡会議において「窓口対応時におけるDV被害者へのかかわり方について」をテーマに研修を行い、DV被害者の対応に当たる各関係機関の担当者が適切な支援を行えるよう取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## 5. 広報・情報発信

- ◆広報アドバイザーの助言を踏まえながら、他部署との連携を密にして市の認知度向上、定住促進につながるようなPRに努めます。

実績	広報アドバイザー会議を10回開催し、45件の相談に対応しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆各部署からの情報発信に関する個別相談に応じる「頼りになる広報課」の支援体制をより充実させることにより、職員の人材育成と組織的な情報発信力の強化への一助とします。

実績	頼りになる広報課としてホームページの相談も受け付け、47件の相談に対応しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆職員一人ひとりの広報意識・スキルをさらに高めるとともに、全庁的に情報発信力を強化するための研修等を実施します。

実績	6月26日に広報担当者に向けて、「広報ひらかたの掲載ルール」と「講座：広報のチカラ～伝わる書面で仕事をラクに」をテーマとした研修を実施し、101人が参加しました。
----	---

<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>
---------------------	--------------

- ◆各種事業を実施する際には、部内共同で情報発信手法の企画立案を行うとともに、市広報紙をはじめ様々な広報媒体を活用し、より多くの市民に参加していただけるような効果的な広報・情報発信に努めます。

<b>実績</b>	<p>情報発信を行う際に、広報プロモーション課に協議・相談等を行い、SNS を活用した効果的な情報発信に取り組んだ。</p> <p>また、次年度に向けての企画立案等も行いました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>

- ◆校区コミュニティ協議会や特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターが発行する機関紙を市ホームページに掲載するとともに、NPO の継続的な活動を支援する各種講座やイベント情報、ボランティア活動に関する情報を掲載するなど、市民活動に関する情報発信に努めます。

<b>実績</b>	<p>校区コミュニティ協議会が発行する広報紙や、NPO の中間支援組織であるひらかた市民活動支援センターが発行する機関紙について、市ホームページに掲載するなど、市民活動に関する情報発信に努めました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>